

11 月定例月議会における議案に対する意見募集

No.4 気象データと水位情報を組み合わせた情報発信の調査研究

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、整備水準を超える降雨に見舞われた際に、浸水の未然防止や被害の最小化を図るため、市民や事業者の防災・減災行動につながる情報発信について調査研究を行おうとするものです。

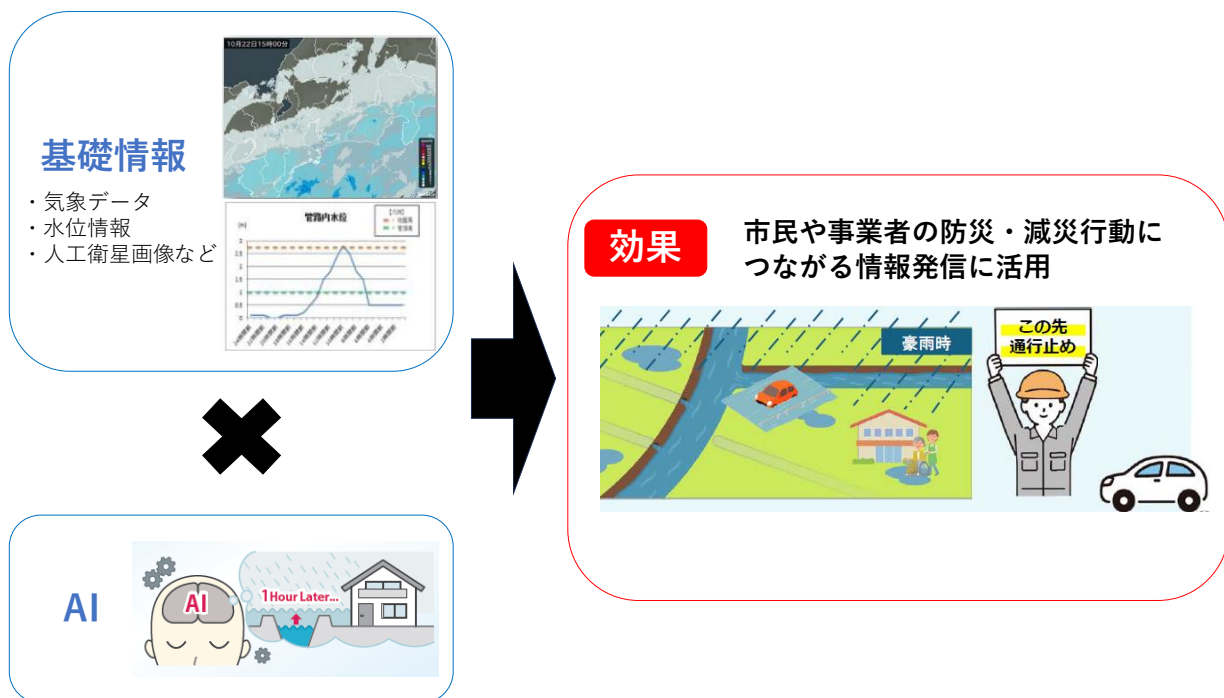
今回の事業に対するご意見を募集します。

1. 内容

令和7年9月 12 日からの大雨により多数の浸水被害を受けた中心市街地を対象に、降雨状況・予報などの気象データ、センサー等で取得した水位情報、地形情報や人工衛星画像、下水道施設の情報等を組み合わせたAIによる浸水予測の実用性を検証し、実装化を目指す。

また、得られた情報を見える化し、市民や事業者へ迅速かつ的確に情報発信するための方法を検討する。

<調査研究のイメージ>



2. 補正予算額

3,000千円

(財源内訳) 自己財源 3,000千円